

インマヌエル中目黒キリスト教会 聖日礼拝・2008.3.9.

メッセージ
イザヤのメッセージ⑫

「苦難を受ける
しもべ」

イザヤ書50章4-11節

竿代照夫牧師



聖書朗読

旧約聖書

イザヤ書50章4-11節

4 神である主は、
私に弟子の舌を与え、
疲れた者をことばで
励ますことを教え、
朝ごとに、私を呼びさまし、
私の耳を開かせて、
私が弟子のように聞くように
される。

5 神である主は、私の耳を開かれた。
私は逆らわず、うしろに
退きもせず、

6 打つ者に私の背中をまかせ、
ひげを抜く者に私の頬をまかせ、
侮辱されても、つばきを
かけられても、私の顔を
隠さなかった。

7 しかし、神である主は、
私を助ける。
それゆえ、私は、
侮辱されなかった。
それゆえ、
私は顔を火打石のようにし、
恥を見てはならないと知った。

8 私を義とする方が近くにおられる。
だれが私と争うのか。
さあ、さばきの座に共に立とう。
どんな者が、私を訴えるのか。
私のところに出て来い。

9 見よ。神である主が、私を助ける。
だれが私を罪に定めるのか。
見よ。彼らはみな、衣のように
古び、しみが彼らを食い尽くす。

10 あなたがたのうち、
だれが主を恐れ、
そのしもべの声に聞き従うのか。
暗やみの中を歩き、
光を持たない者は、
主の御名に信頼し、
自分の神に拠り頼め。

11 見よ。あなたがたはみな、
火をともし、燃えさしを身に
帯びている。
あなたがたは自分たちの
火のあかりを持ち、
火をつけた燃えさしを持って
歩くがよい。

このことはわたしの手によって
あなたがたに起こり、
あなたがたは、
苦しみのうちに伏し倒れる。

説教

イザヤのメッセージ⑫

「苦難を受けるしもべ」

イザヤ書**50**章**4-11**節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「神である主は、私の耳を
開かれた。私は逆らわず、
うしろに退きもせず、
打つ者に私の背中をまかせ、
ひげを抜く者に私の頬をまかせ、
侮辱されても、
つばきをかけられても、
私の顔を隠さなかった。」

(イザヤ50:5、6)

始めに

1. 「主の僕」：
主の使命を果たすために
立てられた人物・グループ

= イスラエル / 真実な信仰者達
/ 預言者 / キリスト

2.

「主の僕」章句：イザヤ書に4つ

(図表参照)

	1	2	3	4
イザヤ書	42:1-11	49:1-13	50:4-11	52:13-15 53:1-12
僕とは？	預言者	イスラエル /預言者	預言者 /キリスト	キリスト
僕の使命	光と激励	回復と 救い	人々を 励ます	自己犠牲 による救い
キリスト における 成就	忍耐 (マタイ 12:17-21) 世の光 (ルカ 2:21-31)	諸国民 への光 (ルカ 2:32)	苦難 (マタイ 27:30)	埋葬 (マタイ 27:57-60) 癒し (I ペテロ 2:23-25)

A. 神に聞く(4節)

1. 語る前に聴く：「弟子の舌」
(教えられるものとしての言葉)

2. 聴く姿勢を保つ

- ・ 朝毎に

- ・ 耳の開かれたものとして

(詩篇**40:6—8**、ヘブル**10:9**)。

B. 耳の開かれた僕(4-5節)

1. 「愛の奴隷」である証し (申命記 15:12-17)

- 主人の命令を良く聞く
- 主人の命令に従う
- 愛と喜びをもって仕える

2. 耳を開かれた僕として

- ・ 神の言葉を聴く (4節)
- ・ 迫害にたじろがずにぶつかる
(5節)

C. 迫害に耐える僕

1. 迫害を甘受する(5-6節)

- 苦難が使命であるならば、
それを避けない
- 十字架に向かう主イエスの姿勢
(マルコ14:65、ヨハネ18:22、
ピリピ2:8、マタイ26:39)

2. 励まされ、助けられる(7-9節)

- ・ 神は僕を守り、弁護する
- ・ 迫害者たちを滅ぼす

3. 僕は他の人々を励ます

- ・ 神を信頼せよ(10節)
- ・ トラブルメーカーは自滅する
(11節)

終わりに

1. 苦難を正面から
受け留められた主イエスに
感謝しよう
2. 私達も、苦難を避けずに
直面しよう